

昭和三十一年十二月

田代村財政事情

地方自治法第二百四拾四条及び村
条例の定めるところにより田代村
財政事情を次の通り公表する。
昭和三十一年十二月一日

長
上田政吉

てゐる外、あらゆる機会に、或は部分的に、或は総合的に御説明申上げ御協力を願つてゐるのであります。今回は昭和三十一年度決算に重点をおいて説明を

一、まえがき

二、昭和三十一年度予算について

度御覧願うこととしまして内容説明は省略をして戴くこととします。その後九月に瀬戸口橋建

昭和31年度予算表

費 目	当 初	一 回	二 回	三 回	合 計	割合
村 税	8,736,200				8,736,200	19.4
地方交付税	6,500,000		172,676		6,672,676	14.86
公営企業財産収入	4,086,465	3,500,000			7,586,465	16.90
分担金負担金	43,102		142,612		185,714	0.41
県支出金	1,388,545		△ 6,700		1,381,845	3.08
使用料手数料	369,610	76,000			445,610	0.99
国庫支出金	6,017,350	6,130,496	160,000	61,823	12,409,669	27.64
夫役及現品	20				20	
寄附金	646,790				646,790	1.44
繰越金	3,858	1,171,435	1,062,874		2,238,167	4.99
雑収入	977,400		110,000		1,087,400	2.42
村 債		3,500,000			3,500,000	7.81
合 計	28,769,340	14,377,931	1,681,462	61,823	44,890,556	100.00

		歲 出			
議役	會費	764,640		26,500	791,400
場費	費	5,204,800	100,000		5,340,800
消防	費	676,630			676,630
土木	費	1,350,600	676,100	1,260,000	3,286,700
教育	費	4,689,960	12,503,227	△ 295,000	16,898,187
社會勞務施設費	費	8,637,880	76,120	42,000	8,756,000
保健衛生	費	420,830		130,000	550,830
產業經濟	費	3,660,080	700,000	307,662	4,667,742
財源	費	1,583,120	260,000	35,300	1,878,420
統計調查	費	29,600			29,600
選舉	費	104,000	22,484		188,307
公債	費	1,210,000		135,000	1,345,000
諸支出	費	251,200	40,000	40,000	331,200
予備	費	150,000			150,000
合 計		28,769,340	14,377,931	1,681,462	44,890,556

区	分	予算額	執行額	割合
村	税	8,736,200	5,405,468	62%
地方交付税		6,672,676	5,570,000	83
公営企業財産収入		7,586,465	4,252,739	56
分担金負担金		185,714		
夫役用品		20		
使用料手数料		445,610	238,390	54
国庫支出金		12,409,669	5,939,361	48
県支出金		1,381,845	683	
寄附金		646,790	10,000	2
繰越金		2,238,167	2,237,347	99
雑収入		1,037,400	10,328	1
村債		3,500,000		
歳入合計		44,890,556	23,664,756	53

議	會	費	791,140	318,578	40
投	場	費	5,340,800	2,829,605	53
消	防	費	676,630	53,610	23
土	木	費	3,286,700	1,273,018	39
教	育	費	16,898,187	6,760,354	40
社	勞	費	8,756,000	110,500	1
費	衛	費	550,830	132,733	24
保	生	費	4,667,742	915,187	19
業	經	費	1,878,420	878,264	47
財	濟	費	29,600	8,050	27
計	查	費	188,307	88,620	47
統	費	費	1,345,000	635,259	47
計	出	費	331,200	112,412	34
選	備	費	150,000		
公					
諸					
支					
出					
予					
備					
歲	出	合	44,890,556	14,216,190	32

造林樹種について

林業技術員 山下 郁男

2、造林樹種の將來

ハ、本村における適地適木の判定
本村内において、造林樹種はどれだけの経済的に選定されているか、と云うことを見ますとき、造林が一九〇〇%とは云えないのビシギ全盛期と云う具合
スキの場合詳細にながめると、五六十年生の吉野アスキを境にオビ杉が現われ、下つて二、三十年生は地杉、メアササ、十年生前後のオビ杉、地杉、メアササ、近年のオビ杉が全盛期と云う具合
が植へられています。
シロロ、イヌマキ、クスギヤ、セシダン、キリ、イテウチの植へられています。山林内、境の畦、家の周囲、山内、塀の間に植へられていて、各時代種と品種についての造林熱の

本村は地質的に第三紀層地帯で花崗層が多く、硬い粘土質が分布する。このような性質は元素の適地とは云えない性質でもついているのですが、たゞ山間の谷筋には、生物、無生物が堆積して、地層が深く、肥沃な土壌を作るが、十年生位のものにおいて、

ヒノキの集合は、四、五十年生の大木を頂点に漸次減少し、十四五年生のスギとの混生林を見受け、それ以後は境界線等に散見の程度で、ノキ造林熱は、半影をひそめクロマツの造林は、三十年生以上は地盤で生長樹形ともに良好であるが、十年生位のものにおいて、

がほつつかがわれます。そして又一方、遺林熱の消云うことに一貫した熱の保持山において、現在秀れた村相するのは当然のごとく、云いながら私共牧世訓としても考えさせる点であります。

つているので、こゝは適地として
現在も旺盛な生長を愉しめるので
すが、中腹になると、残念なが
ら急傾斜が衰えて生長はかんば
しありません。前にオビ杉の話
が出ましたが、この点がオビ地方
と通つている点で、オビ地方は古
は殆んど造林されたものを見ない
と云つたので、こゝは適地として
生長豊く樹形不良であるものが散
見され、一方で然生林は良好な生
育を示している。

クヌギにおいては、往時相当盛
んに植栽された形跡を畑の畦道
の傍に見るが、一五年生位以下
は殆んど造林されたものを見ない
と云つたので、こゝは適地として
生長豊く樹形不良であるものが散
見され、一方で然生林は良好な生
育を示している。

木、造林の将来
現在造林事業が盛んで、本
も毎年百町歩以上の植栽が行
つてゐるのは御承知のことです
面このような情勢下では、将
材の過剰を来し、林木価の暴
落ではないかと云う心配

これからの農人は
本も見なければならぬ

百姓に學問はいらないと言われ
たのは、農民は生かき殺さずの
よつて知識を磨き乍ら大いに
うるではあられませんか。

前掲の「方々」を讀むと、

は、半減料としても、中腹以上は如何するか、スギを植えた場合と他樹種を植えた場合と如何程経済的に通ってくるか、と云うことを充分考へ、樹種の選定をする必要があると思ふます。

村内において雑木よりも不経済な杉・ヒノキを見受けるもの以上に、果立園蓄産の協力に依りまして、果立園蓄産の協力を依頼する。幸ひ我が田代村には村当局の理解と、果立園蓄産の協力が有りて居りますのでおしらせ致して居りますのでおしらせ致します。

(イ) 個人貸出
一人一回につき二冊で、期間は七日間とし、貸出しとする。

(ロ) 一週間を経過すれば一冊につき、一元の延滞罰金を徴せらるゝ。

考へられて一応成功していますが、村民の皆さんに盛んに利用されて居りますが、部落に依つては殆んど利用されて居ないような所もあります。切角村民の為に働えられたいとして普及される

一方近頃林地地割と云うことが考へられて一応成功していますが、村民の皆さんに盛んに利用されて居りますが、部落に依つては殆んど利用されて居ないような所もあります。切角村民の為に働えられたいとして普及される

して、公民館圖書が三冊を突破するに至りました。

(ハ) 村民は誰でも借りら

徴収する。

二、団体貸出

(イ) 十冊一組で期間は三

間とし、無料貸出しとす

ものであり、不地に肥厩をして
適地と太刀打させると云う考え
ではないのであります。林地肥厩
については後編でのべたいと思
います。

二、造林樹種系統の変遷
本村の大部分の造林地は、スキ
取り残される、時代がすぐ目の
来ます。

(ハ) 団体はグループでも
合でも婦人会でも青年団
代表者氏名で借りること
来ます。

これからの農人は
本も見なければ

に於ける學問はいらないと言われ
ては、農民は生かかす殺すの
取られた昔の時代のことと
科学化、合理化が強くなつて
今日、農といふよりも其の
なる 學問が絶対的に必要
代となつてゐました。そうした意

前にやつて来て居ります。随
よつて知識を磨き乍ら大いに
るうではありませんか。

尚貸出の方法は次のように
て居りますのでおしらせ致し

一、個人貸出

(イ) 一人一回につき二冊

で、期間は七日間とし
貸出しとする。
(ロ) 一週間を経過すれば
一冊につき、一円の延滞
徴収する。
(ハ) 村民は誰でも借りら
す。

二 団体の貸付
(貸出文庫)
(イ) 十冊一組で期間は三
間とし、無料貸出しとす
(ロ) 一月経過後は一日二
つき一円つゝ延滞金を徴
る。
(ハ) 団体はグループでも

合でも婦人会でも青年団代表者氏名で借りること
来ます。

養蠶先進地視察報告
(三)

収入面について質問いたしました。が畜以外の収入は話されましたが畜の二〇万円から考へたはずの理想にお任せいたします。ところでこの中村さん経営を色々お尋ねしてみます。年反四八貫でお金にして要があり又そうなるよう努力すべきだと考えさせられました。しかもこの一三〇貫の糞をどんなに忙しい時でもわずか三名で労力は充分だという話には皆をびっくりさせ反省を促されました。なるほどその後岡氏の養園を見学に立ち寄り製糸工程の見学をいたしました。ここは年間糞三万貫を消費できる工場ですが、現在主地盤は肝付郡全部と嚙喰郡南部の生産糞二五〇〇貫で一日八時間操業でわずか十ヶ月余りの操業でこちら手のでるほど糞の増産のことがお聞きになりました。

ようでありました。そしてこの収入をあつむるために反当〇〇〇〇円の金肥を使つてお肥料別に申しますと春に堆肥の糞肥配合肥料三〇糞緑肥四〇糞五糞、夏に一回目堆肥五十分肥料二〇糞、二回目配した。又中村さんの桑畑のまわりに摘めるはずだと考えさせられました。九時金無事帰着しました。最後に二日間の視察を終つてお互

二〇貫、合計して年間堆肥
〇〇貫緑肥四〇〇貫配合六
安五貫を使っておられます
の飼育量は合計して一八四
貫は替七〇g、初秋四九g
五gとなっており今年の生
肥は一五貫位になるようで
も相当桑が集団しておりま
どの桑も負けずおとらずよく伸び
ておりました。以上中村さんの経
営を見聞きたいとして私も一
行はふたたび車上の人となつて都
城へ向いました。途中郡城までの
二〇分間はお互に見えごと聞いた
に考えさせられますことは、まづ
大淀川流域の桑一色に引きかへ肝
平野の甘しよ一色は誠に面白い
対象で又高城町の養蚕の大規模經
営に引きかへ田代村の小規模経営
も大人と子供のような感じがいたし
ます。しかしお互に強く考へさせ

に視察當日五令を始めたい。○五令の套二五を見せ
ました、何といつても桑の伸び特に
よく、何といつても桑の伸び特に
桑葉の大きいこと、中村さんの十
坪位のところで二〇三貫作である
こと、しかもこれを三人で飼ひ
上げることには皆びつくり
とです。それはなぜかといふこと
と視察者の中には今年反収五万円
以上の収入をあげる人が相当まじ
つており、又高城の耕地面積或は
佐宅等から考えて田代村の規模も
その大した差がなへたからです。又
「二〇三坪田を〇四反」に
改

「お、これだ、これだ、この場所が竈で飼育された又晩秋及び晩冬、五匹飼育されるそうです。現在の飼育上から考えていゝ厚飼いだ」と考えられますが、すかー〇坪位の場所で年間貴の鰯を作られるといふこと、通ひ志布志をへて田代村の苗の取りつき昼食をすまして末吉、岩川をうか視察された方もこの記事をお読みになつた方々も急ぎ臺園の拡張新敷をはかれ、一日も早く四〇町一二〇〇万円の鰯代が本村農家の台所をうるはずようご努力下さい。」

3、樹種更新について

現在立つてゐる林木を伐採してその跡に希望の樹種を仕立ててゐることを樹種更新と云うのですが、本村では薪炭林を更新してスギ林に切換へるのが流行してゐます。これも勿論必要ではありますが、前述のことをよく考えて、樹種を選定してゐるのではありません。

知し以前から色々な機会に申し
 上げておられます。雑竹林につては
 是非とも徹底的に更新して、薪炭
 林にするなり、用材林にするなり
 本村の爲自身の爲御努力下さい。

に立寄り製糸工程の見学をいたしました。ここは年間舘三万貫を消化できる工場ですが、現在主地盤は肝付郡全部と贈嶽郡南部の生産舘一五〇〇〇貫で一日八時間操業でわずか十ヶ月余りの操業

でのから手のでるほど藪の増産を待つておられるとのことですが、こどもも色々もてなしに長い長い行程の疲れをいやさしていただき午後四時すぎお別れして肝付平野の目のとどく限り宵々とした甘しよ畑を眺めつゝ鹿屋を回つて午後九時全員無事帰着しました。

最後に二日間の視察を終つてお互に考えさせられますことは、まづ大淀川流域の桑一色に引きかえ肝付平野の甘しよ一色は誠に面白い対象で又高城町の養蚕の大規模経営に引きかえ田代村の小規模経営も大人と子供のような感じがいたし

ますしかしお互に強く考へさせられたことは田代でも必ず高城に負けぬ実績があげられるということです。それはなぜかと申しますと観察者の中には今年反収五万円以上の収入をあげる人が相当まじつており、又高城の耕地面積或は生息する者も「田代」の風景も

住宅なら建てて日付料の規模も
そう大した差がないからです。ど
うか視察された方もこの記事をお
読みになった方々も急ぎ参園の拡
張新設をはかれ、一日も早く四
〇町一二〇〇万円の購代が本村農
家の台所をうるほすようご努力下
さい。